

液体貨物の取扱いに関するデータベースの作成

報 告 書

平成 24 年 3 月 31 日

一般社団法人日本海事検定協会

(検査第二サービスセンター)

目 次

1. 目的

2. 調査方法

3. 調査結果

4. まとめ

1. 目的

当会の長年にわたる石油・化学品貨物等の液体貨物輸送の検査に関わる業務を通じた、液体貨物の物理的・化学的性質、液体貨物の各種材質の輸送タンクへの適合性、荷扱い、輸送上の安全または品質に関わる注意事項、通関数量計算に適用される容積換算係数・密度等の物理定数等の液体貨物に関する多種多様な知見を、液体貨物の海上輸送に携わる輸出入商社、損害保険会社、船会社、製造会社等の不特定多数の関係者に上記情報を容易に入手出来るようにし、液体貨物の海上輸送に関わる安全性の向上および国民生活に不可欠な物資、エネルギー等の取引の円滑化に寄与する。

2. 調査方法

当会に於ける原油・石油製品・化学品に精通している者6名にて、これらの液体貨物の取扱いに関わる情報が収められている「液体貨物ハンドブック」（1996年発行、当会監修）に記載の内容に関して、石油類・ケミカル類・液化ガス類の物理的・化学的性質、ステンレス・亜鉛コーティング・エポキシコーティングなどの各種材質の輸送タンクに対して各種貨物を積載する際の適合性、荷扱い、貨物の海上輸送上の安全および品質に関わる注意事項について、最新の国内外規格や多数の参考文献等を購入し抜本的に見直した。

特に各貨物の容積換算係数・密度等の物理定数などは通関数量やB/L数量などの計算に適用される性格上、各種液体貨物に関する多種多様な知見について、これまでのデータと購入した最新の国内外規格や多数の参考文献等に記載のデータとを比較検討し、容積換算係数および物理定数等の信頼性を精査した。

3. 調査結果

石油類、ケミカル類、液化ガス類および基礎データの項目に分類し、必要な改訂を加えてデータを添付ファイルの通り取り纏めた。

4. まとめ

見直し・改訂した内容を石油類・ケミカル類・液化ガス類・基礎データごとに纏めデータベース化して不特定多数を対象に当会ホームページ上で公開し、定期的に見直し必要に応じてUpdateを行う。

なお閲覧は、検索機能を用いたシステムが完成後に公開する。